

## 研究シーズのタイトル

アドバンスケアプランニング（ACP）の実践方法の開発

## 研究者名

尾形 由起子

## 所属

看護学部

## 研究シーズの専門分野

公衆衛生看護

## 研究シーズのキーワード

地域住民 ACP 地域在宅医療 終の棲家

## 研究シーズの概要

地域包括ケアシステムの構築において、人々の暮らす地域での自助・互助が重要視され、特に、人々が自分自身の視点で生活課題を解決する「自助」から、生活課題について自発的な意識で互いに補い合い、生活課題を解決し合う行為「互助」が形成されることが大切である。このケアシステム構築において、人々が健康な時から自らの生き方や人生の最期をどのように過ごしたいかについて考える「自助」から、この個人の取り組みが、身近な住民に広がり、その繰り返しにより、地域全体への意識が高まるよう、その波及をもたらす必要である。住民の同士の互助には着目されているが、行政以外の専門職がその互助を高める支援にあたっている事例は少ない。住み慣れた地域の中で、地域住民が自身の自らの課題だけにとどまらず、地域の問題に向き合い、地域住民が主体となって、地域の課題に目を向ける過程を支援するプログラムを作成し、多職種と共に地域住民を対象に「終の棲家座談会」を開いている。地域住民において、多くの専門職と協働し、人々の死への受けとめ手となる人々の認識に働きかけ、「看取り文化」の醸成に繋げる必要があり、しその支援方法について実践的研究を行っている。

## 研究シーズの適用分野

ACP開発

## 共同研究が期待される外部機関

福岡県 田川市